



桜梅桃李(2)



生徒のみなさんへ

● 文化総合発表会 ●

11月1日(水)は、実に4年振りとなる文化総合発表会を開催しました。ここ3年間は、コロナの影響から中止になったり、展示だけだったり、寂しい開催でした。だから、今年こそは全校生徒が体育館に集まって、目の前で互いの発表を見ることができると楽しみにしていました。しかし、発表会直前、学級閉鎖等には至らないものの、急に風邪症状の欠席が増えたことにより、実施方法について大幅な変更を行うこととなりました。延期することも考えましたが、今後の感染者の増減は全く予測できないことから、中止の可能性もある延期ではなく、実施するという苦渋の決断を行いました。そのことにより、感染リスクを極力減らすため、予定してあった合唱練習をなくしたり、総仕上げの練習形態を変えたり、体育館で鑑賞する形ではなく、各学級においてライブ中継をテレビで視聴する形式にしたりしました。もちろん、さまざまなステージ発表を直接目の前で鑑賞する方が、皆の頑張りを全身で感じることができますので、皆さんには体育館に集まって感動を分かち合ってもらいたかったです。



【写真上】教室でライブ配信を鑑賞する様子。目の前で皆の演奏や発表を観ることはできませんが、少しでも皆の頑張りを受け止めようと真剣に鑑賞していましたね。【写真下】体育館はほぼ無観客ですが、懸命に学年合唱を披露する1年生の皆さん。



また一方で、保護者や地域の方々の4年振りの参観も中止せざるを得なくなり、ライブ映像配信のみのステージ発表となりました。この日のために、わざわざお仕事をお休みになられた方々も多くいらっしゃったことと思います。生徒の皆さんの懸命に取り組む姿を、体育館で直接ご覧いただくことができず残念でなりません。



【写真】トップを飾る1年生の学年合唱の様子。最初の出番というプレッシャーに負けることなく、見事に堂々と歌い上げました。1年生らしい元気と清々さが伝わってくる歌声でした。1年生はとても本番に強いという頼もしさも感じることができました。



【写真】2年生の学年合唱の様子。昨年の経験を生かし、さらに表現力を増して、磨き上げた歌声を披露しました。さすが先輩と思わせる迫力が伝わってきます。

しかし、これまでもこのような状況乗り越えてきた皆さんです。先週の3日間は、限られた状況においても、持てる力を存分に発揮して充実した日にできていま

したね。特に、生徒会執行部や放送部、委員会の皆さんや音楽科の中村先生、実行委員会の先生方など、ステージ発表等を運営した皆さんにとっては、やり方を急遽変更しなければならない、かなり苦しいリハーサルとなったことと思います。生徒の皆さんと職員が団結し、困難や課題をまさに臨機応変に対処しながら、この状況に負けることなく見事にやり遂げてくれました。本当にありがとうございます。



【写真】3年生の学年合唱の様子。歌う姿勢や一人一人の表情、厚みのある歌声、曲想に合った表現力、奏でられるハーモニーなど、さすが最上級生！と感じさせる見事な合唱でした。

今年の発表会も体育館に全員集まることはできませんでしたが、今、この瞬間に、仲間が、先輩が、後輩が、頑張っているということ、湯川中の皆さんの素晴らしさを感じることができたのではないのでしょうか。体育大会と同様に、一人一人

が本気で取り組み、皆さんの一生懸命な姿に感動を覚える、そのような日になりました。皆さんの努力によって、今回、また新しい湯川中の文化・伝統が生まれたと思います。ここで得た力をこれからも存分に生かし、さらに新しい湯川中学校を、皆さん一人一人の力で創ってくれることを期待します。

最後に、文化総合発表会のために、長い間、たくさんの準備をして臨んだ生徒会執行部、放送部、委員会の皆さん、そしてそれを支えた先生方の努力に深く感謝します。(次号で展示部門の様子や感想文を紹介します。)



【写真上・下段左】生徒会執行部による楽しいオープニングや幕間クイズ・コント。皆に少しでも楽しんでもらいたいという工夫が光ります。【上段右】2年生のスタンドグラスの紹介プレゼン。苦勞して制作した様子がよく伝わってきます。【上段右端】放送部による絵本朗読。美しい朗読に絵本の世界へ引き込まれます。【下段中】合唱部披露。少人数とは思えない迫力と表現力のある歌声に圧倒されました。【下段右】生徒会によるエンディング。スローガンに込められたテーマを演劇で表現しました。最後まで工夫を凝らした演出は見事です。